

美里村、安濃町、香良洲町、一志町、白山町、美杉村の10市町村です。そうしますと、10の地域それぞれで踊られている音頭があります。例えば山崎さんが時々いらっしゃる美里地域では、美里音頭が今でも踊られています。私はひと夏で80回くらい盆踊りに参加しますが、合併して10周年を迎えた津市には、皆さんと一緒に踊っていただける音頭がない、という話になったのです。

**松原** 市長さんは大変ですね。

**市長** 松原さんのステージの数に比べれば少ないと思いますが、それぞれの地域で踊る音頭が違うわけです。私もいろいろな音頭をマスターしたのですが、各地域の人が一緒に踊るとなると、意外と炭坑節になってしまったりします。

**山崎** なるほど。

**市長** これは市議会でも議論になりました。平成21年ごろから、ぜひ合併後の一体感を作り上げるために、みんなで踊れる音頭を作ってはどうかという話が出ました。実際に平成25年ごろから検討が始まり、平成

## 10地域みんなで踊れる合併後の一体感を生む

26年5月に10の地域から、踊りや伝統芸能、ロック、よさこい、いろいろな分野の人が参加して、津のまち音頭を考える会が発足しました。その後、津のまち音頭を考える会が市民アンケートなども行い、ちょうど合併10周年の年に作ってみようという話になったのです。そんな経緯を踏まえて、津市にゆかりのある人に歌ってほしいという思いから、山崎さんに声をお掛けしたのだと思うのですが、いかがでしたか。

**山崎** 本当にうれしかったですね。そのお話をいただいたときに、ちょっと驚いたのですが、私の今のマネジャーの祖父が、一番初めの津音頭の発案者だったと聞かされたときに、これはご縁があると、重みを感じずにはられませんで



した。

**市長** 津音頭ができたのは、今から50年以上前の昭和39年です。この津音頭を歌っているのが、北島三郎さんと五月みどりさんで、当時、北島さんはなんと28歳でした。

**松原** お若いんですね。

**市長** 松原さんは、北島三郎さんと親しくしていらっしゃるのですよね。

**松原** 師匠でしたから。

**市長** その連想もあったのかかもしれませんが、ぜひ松原のぶえさんと山崎ていじさんに歌っていただこうとい

うことになったのだと思います。作詞・作曲の、たなかつとむさんは三重県にお住まいで、日本ど真ん中祭りのテーマソングなども手掛けておられます。皆さん、本当にいろいろな議論を重ねて、たくさんの時間を割いて作り上げられました。最初に少しポップ調で出来上がってきたり、ゆっくりとした曲調で仕上がってきたり、ギターや三味線を弾きながら作られたりみんなで創意工夫がこらされた歌なのです。お二人がデュエットするのは初めてですか。

**松原** 初めてです。

**山崎** いつデュエットできるのだろうと思っていました。

## NOBUE MATSUBARA

歌手 **松原のぶえさん**

本名：廣原伸恵

生年月日：昭和36年7月18日

出身地：大分県中津市耶馬溪町

血液型：O型

趣味：レコード鑑賞、アウトドア(キャンプ・釣り)



## TEIJI YAMAZAKI

歌手 **山崎ていじさん**

本名：山崎禎次

生年月日：昭和32年7月8日

出身地：島根県浜田市三隅町

血液型：O型

趣味：スポーツ観戦(ボクシング・バスケットボール・相撲)

